広報 こすど

発行所
小須戸町公民館
新潟県中蒲原郡小須戸町
編集発行印刷人　矢部藤三郎

私達の町の教育上の諸問題について

教育長　佐藤五郎

昔のことはまず問わないことにして終戦後わが小須戸町は他町村にさきがけて教育事業に力をつくし多大の経費を投じて来たことは私共直接教育のことにたずさわるものとして心から感謝にたえないのであります。そのおかげで各学校ともその校舎だけは一応建築が整つたのでありますがしかしその内容設備の点になりますと先進地の学校に比べて見てまだまだ至らないところがたくさんあるのでございます。世は正にオートメーション時代であります。小須戸町の学校の設備状況はこれを農作業の発達段階にたとえて見ますと、やつと牛馬耕時代にこぎつけた程度のような気がいたします。世の進運に伴つた教育をするのに十年一日の如くいつまでもチョークと鞭一本で事足りるわけはありません。

さて、私達の町の当面する教育上の問題として、①プールの建設②定時制高校専用教室の建設③矢代田小学校放送施設及び映写機購入の問題④国庫補助による中学校の産業教育及び理科教育設備の充実⑤小須戸小学校の渡廊下シャッター取付等を数えることができます。プールのことについては中学校と小須戸小学校両方のPTAで密接な関連を保ち合同の建設委員会を設置してまことに熱心に事を進められ今やプール建設は全く町民の与論となつている状況であると思います。子供達も一日も早く泳がせてほしいと待望しておりますことでしょう。

次ぎに定時制高校の専用教室建築のことですが、このことについては学校当局並びに関係方面から町長及び議会議長に対し請願書を提出し議会では十分検討を加えられその必要性をお認めになつて財源が得られるならば本年度中に建築すべきであるということに定めているのでございます。勤労学徒諸君の勉学の殿堂として是非ともこれが実現をはかりたいものであると存じまして微力を捧げたいと思いますが何卒町民の皆様の御協力と御鞭撻をお願い申し上げます。矢代田小学校放送施設及び映写機購入の問題も議会でとりあげられ財源を見て本年度中に実施すべきであるということに決定されているので何とかして出来る限り早期に解決していただきたいものであります。

中学校の産業教育の振興については県からその研究指定を受けて十五万円の国庫補助があり町はそれと同額以上を支出してその教育設備の充実をはからなければならないことになつているのでありますが小須戸中学校の現状から見ますと産業教育関係の設備が最も貧弱になつております上に将来の小須戸町発展の基盤を考えます時如何に産業教育の振興が大切であるかということに思いをいたし、是非ともこれが予算化をはかつていたゞくよう町当局にお願いしている次第であります。また理科教育設備の充実については、本年度八万円の国庫補助が小須戸中学校に対して交付されることになつたのであります。産業教育設備と同様町はそれと同額以上支出してその設備を整えなければならないこととされております。中学校の理科設備についてはおかげ様で過去において県や国から二回の補助を受けておりますので相当程度立派なものになつています。こんど三回目の補助になるわけですがこれでますますよい設備となり科学教育振興という国家的方針にもそい得ることとなるわけでありますからこれまた町長さんにどうしても予算化していただく様にお願い申上げておるのでございます。

それから小須戸小学校の吹抜きになつている渡廊下にシャッターを取付けたいということですが毎年のように学校側からその要望が出されているにもかかわらず予算関係でいまだに実現を見ないでいるので全く申しわけなく思つております。以上当面する教育問題についてごく簡単に述べた次第でありますが近い将来における大きな課題として中学生の激増による同校舎の増築社会教育法の改正に伴う社会教育主事の設置等が予定されますが教育のことに対して深い御理解を持たれる町民の皆さんのお力によつてこれ等の諜題も円満に解決していたゞきたいことを今から強く念願する次第であります。

小須戸町教育目標

一、民主的で明朗な人となる。
一、文化的で心身ともに健康な人となる。
一、生産的でたくましい人となる。

幸福はみんなの和合から湧いて来る

矢代田　壺屋徳一

幸福!!

幸福とはなんであろうか、今更その説明の必要はないであろう。私達は幸福を探し求め夢を追うて毎日を送つている。幸福は日常生活のどこかにかくされている。私たちは眠る時を除けば毎日殆んど人と人との中に生活している。こうした一般社会の生活の中で健全な精神と健全な身体の持主は巨額の富を積むより幸福である。例え巨額の富を積んだとしても病身であつては幸福とは言いえないし又理想の夢を追うこともできないであろう。

こうした健全な身体や富豪の富の幸福もさることながら日常生活の中で人と人との「和」に対する幸福がある。朝起きて家族揃つて一緒に朝食をするということとも、そもそも「和」がなければならない。一家の「和」ということはもとよりであるが、隣同志の「和」、社会全体の「和」が保たれれば、それこそ百万の富に勝る幸福であろう。新憲法の規定に基き民主化に相応した人と人との「和」を知りながらも兎角世間には古くからの「しきたり」の泥沼から抜け出すことができず身分や顔役に支配され自分の意志を曲げ従順になつている人もあるのではないかと思われる。この場合の従順の標準は不満乍ら即ち無条件に服従することで、このようにして得た妥協は「和」とは言いない。それ故に往々にして同志間の「和」を欠くことがある。ましてや世代に添うた清新有意義な小須戸町を建設するには多くの人の「和」と協力によつてなり立つものである。

顔や身分を利かせる者も又これに服従する者も大いに反省すべきである。国の政治が民主主義に基いて行われるためには個人の生活も又民主主義に基いて行われなければならない。民主化の道徳をはずし新憲法を悪引用するものがあれば、それらの人は小さな楽しみを得るかも知れないが真の幸福を掴むことはでき得ない。身分や顔を利かせ又これに服従するような人があるとするならば、やがて民主主義政治の崩壊を来たし、万人が苦しむ大きな禍を招く結果になるであろう。私たちは平凡人の集まりの中に常に良識のもとで「和」を持ち幸福を現実の一般社会の中に求めなければならない。「和」はけつして七面倒臭いことを要求するものではない。私たちは素朴な生活の中で常に寛大な精神とお互の譲歩の精神に依つて生まれて来る、その「和」の中で民主的で、明るい正しい住みよい町をみんなでつくろうではないか。

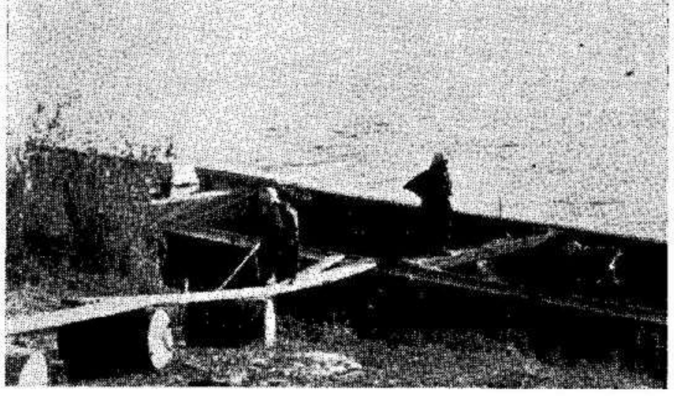
衛生モデル部落をめざして

はりきる矢代田婦人会

猫の手も借りたい田植えも一段落した六月十日午後一時より矢代田婦人会は本年度の事業その他について総会を公会堂に全員出席の裡に開催した。協議事項の審議を終り新津市小合支所長川瀬富明先生（前公民館長）の「今後の婦人会のあり方」についての講演を開き、婦人会の従来の型は承り主義で会長役員の意図する事柄を承つて行動してきたが、現在の婦人会は考えることによつて社会の進歩に貢献し地域社会の向上に積極的に協力することにある点を強調され、各地の実行運動を紹介されたことで多大の感銘を与えた。又当日の小須戸地区労の要請で八月五日の広島で開かれる原水爆禁止世界大会の資金カンパに協力することを決定し、二八〇の会員一人拾円宛拠出することにした。あらゆる婦人が平和を念願し人類を破滅から救う為にはどうしても原水爆の使用禁止と、世界平和の維持が必要であることを固く認識し五時散会した。

この総会の川瀬先生のお話から婦人会が中心となつて蚊と蠅の撲滅を図り衛生モデル部落を作ることが必要であるとの会員からの強い盛り上がりの意志発表があり遅ればせ乍ら各常会内で実施している。蚊と蠅の駆除を計画的に恒久的に実施して理想的な環境を生み出すべく六月十四日の大字矢代田部落総会に婦人の声として反映させ部落総ぐるみの防除対策が婦人会を中核として動き出すことになつた。

伝染病の媒介源であり夏の生活の邪魔者である蚊と蠅をなくすることは理想であるが徹底的に恒久的にその防除が行われなければならない。これから十一月上旬まで一週間目毎に薬剤を撒布し又その発生源を無くするという大きな仕事と取り組むことになつた。今後の実施方針は新津保健所町当局の指導のもとに完璧を期し予算は大字矢代田部落から金五万円の助成を得、町当局からもできるだけの助成金をお願いして不足分は各戸で負担し、理想的な住みよい部落を作ることになつた。



砂利とりの舟　風間源一郎

近日中に 耳鼻咽喉科 開診

県立小須戸病院

当病院も四月開院以来皆様の御理解と御援助により順調な歩みを続けております。内容も逐次整備されつつあります。

また長らくお待たせしました耳鼻咽喉科は、漸く準備が整いましたので近日中に開診できる運びとなりましたが、大学からの都合で当分の間、新患者は火曜日、木曜日、土曜日の午前中だけ受付致します。なお次のことについて御協力を御願い致します。

※外来患者の受付は午前八時三十分より十一時三十分まで、午後は一時より三時までとなつておりますが、午後は大概予定の手術や、入院患者の廻診又は往診などがありますので応急患者以外はなるべく午前中においで下さい。

町関係人事交流

公民館へは森田さん

岡田新町長の構想による町関係一部の人事交流が行われた。長らく公民館書記として町民になじまれた丸山さんが惜しまれつゝも役場へ移籍し、新たに定校書記の森田さんが公民館書記に就任された。

戸籍課（旧税務）　高橋千秋
経済課（旧公民館）　丸山敬雄
公民館（旧定校）　森田昭司
定時制高校（旧経済）　高橋修二
厚生課（旧戸籍）　田中三郎
（昇　任）　岡田良平
白根市社会福祉事務所へ（旧厚生）　伊藤敏治

中学校へ教材教具を御寄附

中学校教育に深い関心をもつていられる左の皆さんからそれぞれ教具教材の御寄附があり、学校当局の感謝を浴びている。

◎アメリカ製「アンスコ、デュアレット」幻灯機一台
　カナダシャワーズ夫人（当町三番町出身）
◎中古モーターバイク二台
　前年一台今年一台
　新保　坂秀自転車店
◎ナショナル電気アイロン一四台
　二番町　小見雄司氏

坂井中学校長談

「まことにありがたいことです。視聴覚教育は申すに及ばず、理科教育、産業教育の重要性が強く叫ばれておりますものゝ校費予算削減のため、新規購入等思いもよらなかつたものばかりです。御厚意に深く感謝申し上げると共に、生徒の実際学習活動にこれを十分活動して、より教育成果をあげ御期待に添えたいと思つています。尚これを機会に、過去において幾多の教具教材を御寄附頂いた皆さん方にも改めて感謝の意を表したいと思います。」

小須戸町公民館運営審議会の委員きまる

小須戸町教育委員会は先般の会議において左記の方々を六月一日付で小須戸町公民館運営審議会の委員に委嘱することに決定した。

岩谷　周次　　田村　正男
坂井富三郎　　武田　統一
佐藤　和作　　高橋　福蔵
阿達　昭五　　加藤　徳七
丸山清三郎　　海津平一郎
野崎　春作　　加藤　米二
吉沢　松吉　　長沢万寿宏
保科ミツエ　　川瀬　弘一
栗原　久平　　佐藤　勇
小川　久

この外に連合婦人会の会長がきまり次第委嘱する。なおこの委員の任期は小須戸町条例の定めるところによつて二ケ年となつている。委員の定数は同じ条例に五十名以内と定めてあつて従来は相当多数の人達が委員になつていたが人数ばかり多くても会議等の際に出席が悪いと運営上いろいろの支障があるので予算の関係等も考慮して人員を出来る限り少なくする趣旨のもとに選ばれたものである。

この新進の委員各位から新しい識見をもつて町民皆のものである公民館の運営について十分検討していただき活発な公民館活動が展開されるように我々町民は多大の期待を寄せたいものである。

小須戸風土記

「新保村と弘法大師」

柏　大治

弘法大師の伝説はいたるところにあります。新保村にも弘法大師の伝説があります。それは真夏の炎天が続く日この新保村へ一人の僧が疲れたらしい足どりで入つて来ました。

そして或る農家に休息いたしました。この僧は非常にのどをかわかしていました。見ると庭先に井戸がありますからこの家の主人に「水を一杯所望したい」といいました。この井戸は村でも良い水でしたにもかゝわらず、この家の主人は邪見に「この井戸は悪い水だからあげられない」と僧を追いだしました。僧は仕方なく、又とぼとぼと出て行きましたが、おどろいたことには翌日そこの主人が井戸水をくむと、不思議にもあれ程澄んだ良い水が、金けの水に変つていて飲むことが出来なくなりました。

どこからともなく、昨日の僧は弘法大師だつたといわて水を差上げなかつたので、そのために村のどこを掘つてもその後良い水が新保には出なくなつたといわれています。今でも新保には井戸を掘つても良い水が出ません。

なぎさ

しびれがきれます

選挙が終つて、新町長さんもきまつて町民のわしらもほんとにびつくりしました。それに新議員の方もそれぞれ役わりがきまり、近く議会が開かれるとか……。

皆さんのいろいろの立派な公約がどんな風に相談され、どうきまるかとわし等はみんな大きな期待をもつて見守つていますよ。それにしても町の三役の助役さんと収入役さんが二ケ月もたつにまだきまらないのはどういうわけでございましよう。とりわけ助役さんは女房役として大事な役じゃないでしようか。まさか新町長さん、生涯独身で暮す気持じゃありますまいが。

もつとも「帯に短したすきに長し」とか、嫁さがしも容易じゃないでしようが、それも分つてはいますがね。それにしてもちと長過ぎます。　わしらは町民として、そろ〳〵しびれがきれはじめましたよ。もう一つ気にかゝるのは婦人会の問題ですがね。

この前新潟日報に「な[illegible]」などとすつぱ抜かれ[illegible]広く県下にまで公表されてはあんまり名誉とも言われますまい。何しろ小須戸の婦人会と言えば、その組織からいつても、又事業からいつても本当に良くやつてくれたんですよ。[illegible]新生活運動と同様、事業上町の中心となつ[illegible]上がつているのに、大事な町部が会長もきまらないとはどうしたんでしょう。早くなんとかしてくださいよ。あゝしびれがきれる……（権太郎）

恐ろしい夏の伝染病

皆んなで作ろう 住みよい環境

本格的な暑さが近づくにつれこれからいろいろな伝染病が発生します。その中で死亡率が高く患者数の多いのは赤痢、疫痢そして日本脳炎です。当町でも五月から十二人の患者保菌者が出て居り現在町では伝染病舎がない為新津市の伝染病院に隔離して居ります。

一人の患者が出ても経費その他色々の面に大変です。一人一人が充分注意して頂きたいと思います。

赤痢は非常に伝染力の強い病気なのでできるだけ早めにお医者さんに診断してもらうことが大切です。最近クロマイなどすぐれた抗生剤が生れて以来やたらに素人療法をする人がふえていますが、一時的に治つた様に見えても実は依然として菌を持つている保菌者の場合が非常に多いのです。よく集団赤痢の発生原因を調べて見ると調理人が保菌者だつた例がたくさんあります。

赤痢は口から伝染する病気の一つで患者や保菌者のフン便かハエによつて伝染することはご存じの事と思います。

そこで赤痢の予防にはまず手洗いの励行やハエの駆除も大切なことです。特にこれからは食物も腐りやすい時期ですから宵越の食品は一度熱を通すことが必要です。

また冷蔵庫の品物も度々出し入れしているとその度に腐敗菌がふえるもので決して安心はできません。

とにかくふだんから体に抵抗力をつけるために栄養と睡眠を充分に取つて過労にならないよう心がけるのも一つの予防法だと思います。

幸い当町でも新生活運動が着々進展し、特に環境衛生の面では青年団その他の皆さんの御協力によつて成果をあげつゝあります。

しかし何んといつても全町民一致の協力態勢がなければ完全な成果をあげることができないのであります。

便所の消毒、下水や溝の清掃、塵芥の処理等によつて蚊や蠅を撲滅し、皆んな楽しい、安全な生活をしたいものです。

県展奨励賞の栄冠

佐藤富一（江山）氏

十年の努力稔る

五月二十六日新潟市大和、小林両デパート外県下三会場で開催中の県展に、県下多数の出品者の中から、東京よりの審査員によつて厳選に厳選を重ねて審査された結果、小須戸町より出品された左記の方々が美事入選の栄冠を獲得され美術の町小須戸の名を輝かせた。

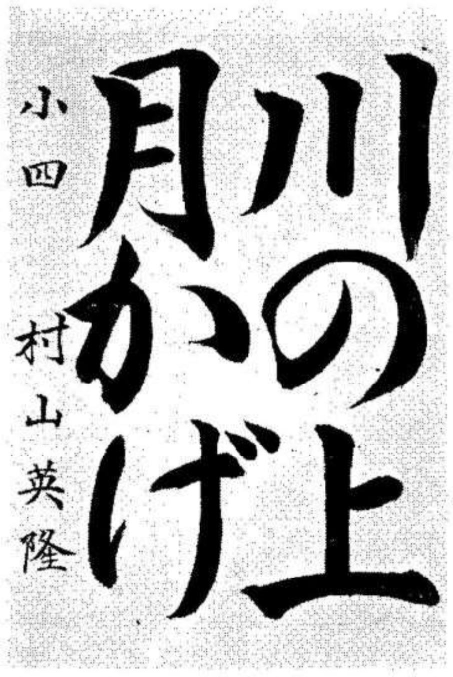
書道の部
奨励賞　佐藤江山
入　賞　坂井清風
洋画の部
入　賞　成田常信
〃　横山明男
〃　木村久三

それぞれ多年の精進が実を結びこの度の栄誉となつて現れたのですが、特に最高賞である奨励賞に選ばれた佐藤江山氏は、鎌倉の人、矢代田駅に勤務、同じ職場の坂井清風氏と共に昭和二十五年、書道に志し、毎朝四時に起きて先ず書の練習をしてから田圃の朝仕事を終つて駅へ出勤十年一日の如く書道一途に精進を続け今も尚一日も欠かさず努力されているその結晶が今回の栄誉となつたもので、昨年は東京一流の毎日展に出品されて美事入選し、東都の書家より将来を嘱望されているもの、益々円熟大成されんことを祈るや切。

尚、洋画入選の成田常信氏はうでこき在住、中学校の音楽の先生、横山明男氏は水田で現在新津第一中学校の図画の先生、それぞれ県展外各種展覧会に数回入選のベテランである。又木村久三氏は四番町の産、昨年三条実業高校を卒業、新潟市の某商社に勤務しながら洋画の研究グループに入つて勉強を重ね、今回初出品、初入選の栄誉をかち得たものである。

他に中学校図画担任の小田哲先生は、昨年来無鑑査同人に推薦され、押しも押されない県下画壇の一雄として余りにも有名であるが、今回は特に依嘱作品として大作を出展され会場に異彩を放つている。

× × ×



町長賞に

書　村山英隆君
画　森本健一君

席書写生の展覧会

毎年恒例の六月二十日、寺お講の日に行われている小須戸町美術同人会主催小須戸町教育委員会、公民館、教育振興会後援の近郷席書写生展覧会に左記の通り入賞された。

書道
町長賞　村山英隆
教委賞　塩野　修
公民館長賞　砂井久雄
教振会賞小合　片岡淳子
美術会賞小合　田村怜子
準特選　陸　彰子
〃　片岡幹雄
〃　戸石　長沢ラン子
〃　坂井ひで子

画の部
町長賞小二　森本健一
教委賞中三　木村花子
公民館長賞小三　高野雪子
教振会賞小四　木伏のりお
美術会賞小四　徳永美津夫

尚六月二十一日県下学生席書大会が行われたが、毎年優秀な成績に入賞している小須戸の成績が期待される。

優良赤ちゃん

三十九名表彰

母子衛生の普及並育児知識の向上を図るため赤ちゃんの一斉検診を実施、左記の優良赤ちゃんが選ばれ近く表彰されます。

男優良児
坂口正信　矢代田
久保博資　一番町
大矢部正明　矢代田
大倉　武　新保
阿部逸雄　矢代田
小林俊雄　神明町
有川裕史　東町
坂井　博　矢代田
坂上　実　鎌倉
田中国男　鵜出古木
吉田国宏　泉町
小柳道男　鎌倉
笠原　仁　神明町
五十嵐淳　矢代田
渡辺　慎　一番町
高山俊夫　新保
海津　宏　横町
鈴木癸佐男　水田
関根健一　新保

女優良児
海津裕子　神明町
大貫尚子　新保
中川美恵子　桜木町
高橋暁子　土堤町
竹和かずえ　小向
高野千春　東蔵町
川瀬裕子　竜玄
内山富士子　横町
高野ひとみ　五番町
楠原智子　龍玄
吉川桂子　矢代田
中山典子　矢代田
五十田淳子　諏訪町
五十嵐元子　矢代田
横山久美子　水田
松沢容子　東町
池田紀子　横川
中野香苗　小向
村越順子　諏訪町
真柄恵子　出雲町

季節の料理

水煮の鯖のサラダ

○材料　五人前
鯖罐詰一個きうり一本トマト二個サラダ菜五枚マヨネーズ、ソース大サジ五杯ラッキョ漬みじん大サジ二杯パセリみじん大サジ一杯他にマヨネーズ、ソース少々

(1) きうりはまな板の上におき塩をふりかけ、ごろごろころがしながら板ずりにしてうす切りにします。

(2) トマトは縦六つに切ります。

(3) マヨネーズ、ソースの中にラッキョ漬とパセリのみじん切りを入れてまぜ合わせ、塩小サジ一杯加えます。

(4) 皿にサラダ菜をしき、トマトやきうりを盛ります。手前に鯖の罐詰を出し、そのまま魚の皮を下に身の方を上にして盛り、マヨネーズ、ソースをしぼり出してかざり、横に前のソースを添えておきます。

この外花キャベツや芽キャベツ、ビーツ等季節のものをゆでて適当に使います。

（私たちのおかずより）

さあ家中そろって

第十六回　懸賞クイズ

考えましょう

次にあげた魚はみなさんにおなじみのものばかりです。長生きをするものの順序に並べてみてください。

イ　まだい
ロ　こい
ハ　あゆ
ニ　さけ
ホ　なまず
ヘ　いわし
ト　どじょう

答ははがきに書いて「広報クイズ係」あてに〆切は七月五日

前回の解答
1　東京
2　大阪
3　名古屋
4　京都
5　横浜
6　神戸

◎当選者発表（正解者多数により抽せん）
矢代田　田沢敏康
保科文子
増井久一
新保　吉川正暁
横町　三浦玲子
東町　竹石トシイ
西幸町　原　清三郎
三番町　吉田　稔
四番町　臼井勝義
ウデコキ　斎藤和芳

当選者には賞品をさしあげますから、なるべく早く公民館でお受け取り下さい。

社会見学

良寛史跡めぐり募集

今年の第一回社会見学コースとして、良寛史跡めぐりを計画しました。多数の皆様の御参加を御待ち致しております。

日時　七月十二日午前六時三十分（公民館前に集合）
出発　午前七時
会費　四百五拾円（申込の時納入）バス代参観料等
申込〆切　七月六日
申込先　公民館
予定コース
（与板）徳昌寺、良寛歌碑、父以南の生地句碑
（塩之入峠）晩年島崎から与板に行くため通つた峠、良寛の歌碑
（島崎）良寛遷化の家　良寛の遺墨
（出雲崎）良寛の生地　良寛記念館、良寛堂
（寺泊）密蔵院四十四、五才頃三年ほど住んだところ
（国上）国上山中腹五合庵　乙子神社

小須戸中学

五つの栄冠

新津 小須戸郷 陸上競技大会

去る六月十六日小合中学校グランドで開催された新津、小須戸郷中学校陸上競技大会では小須戸中学校が断然他校を圧して、左記の優秀な成績をあげた。日頃の猛練習と全校、地域を挙げての声援が実を結んだわけである。

◎一位
男　走巾跳　入倉勝彦
〃　砲丸投　高野賢治
〃　三段跳　加藤新治
女　走高跳　奈良沢忠栄
〃　砲丸投　野崎幸子
◎二位
男　四〇〇米　袖山清次
〃　三段跳　入倉勝彦
〃　走高跳　伊藤正義
〃　砲丸投　高山郁義
〃　八〇〇継走　小須戸中チーム
女　二〇〇米　井上トミ
◎三位
男　一〇〇米　古木健治
〃　一、五〇〇米　丸山孝
〃　四〇〇米　小柳健三
〃　八〇〇米　袖山清次
〃　三、〇〇〇米　斎藤繁雄

二つの料理研究グループができました

先に青木勇一郎さんより寄附された壱万円で婦人会は町民のみなさまに少しでもお役に立つようにと、調理用具を購入し公民館に常備して一般からも使つていたゞくことになつた。これにお応えして「すみれ会」「友の会」のお母さん方のグループが生れ、それぞれ第一回の楽しくも又真剣な実習会を行つた。

これからがシーズンです

蚊（か）と蠅（はい）の撲滅へ

新生活運動は衛生環境から

町民釣大会

入賞者

（参加者五十四名）

特　賞　田中清四郎
残念賞　古寺徳治
〃　木伏富士男
一　等　竹井七郎
二　等　古寺徳治
〃　岡　謙吾
三　等　森田吉之助
〃　加藤信吾
〃　砂井春三

参加者諸氏の意向により、会の結成を計りたい所存でありますから、御賛同を得たいと思います。

田上吟行句会

小須戸町俳句同好会

ひなげしの梅雨入に落ちし二三片　山葵
かそけくも竹の皮散る留守の家　杏水
グミの朱を覗かせてあり緑格子　石秋
皿大となりし蕗の葉夏に入る　水月
山ぐみの花にけぶるや今朝の雨　竜雲
一枚は植田の中に麦の秋　香月
大薔薇の花重たげに雨はるる　溪灯
苗取りの泥が日和の水濁す　竜朗
若竹のぬきん出卯の花腐しかな　紫川
森にひびく三光鳥の声澄めり　流水

六月購入図書

◇東京タワー物語　前田久吉
◇千代田城　桐山　真
◇上信の山と高原　東京山旅倶楽部
◇磐梯、吾妻　安達太良山
◇トランプ奇術　柳沢よしたね
◇きょうの料理　編　日本放送協会
◇トンチャンの日記　編　酒井田景三
◇ハンコと聴診器　島村喜久治
◇ひやめし物語　山本周五郎
◇江戸の顔役　島田一男
◇大いなる河　ヨセフ、カリニコフ
◇春の坂　上林　暁
◇うろか船　田辺貞之助
◇推理試験　編　二宮佳景
◇私たちが町を作る　編　毎日新聞社
◇20世紀のセックス　朝山　新一
◇年中料理献立集　編　国立栄養研究所
◇女町長日記　原田重久
◇黒い画集(1)　松本清張
◇新著十番勝負(2)　川口松太郎
◇一人息子　鹿島孝二
◇夜を探がせ　石原慎太郎
◇主水血笑録　柴田錬三郎
◇わたくしたちの皇室と皇居　侍従　入江　外
◇三界飛脚　後編　村上元三
◇私本太平記　巻二　吉川英治
◇二十一世紀からの報告　M、ワシリエフ外
◇ある落日　井上　靖

キャンプ開催御案内

原始林の中を清らに流れる三面川上流をつめ、近代科学の総力を結集して築かれた新潟県が誇る三面ダム発電所を見学、人工湖を遊覧船にて一巡し、夜は大自然の懐に抱かれ、暮れ行く山々と共にキャンプファイヤーを囲み楽しい一夜を明かして参りたいと計画致しました。

どうぞ多数の御参加を御待ち致します。

期日　七月四日、五日
場所　三面ダム湖畔
会費　一、三〇〇円

本年は特に観光バスにて小須戸公民館前より往復致しますので、人員の制約がありますから、早目に申込み下さい。

公民館又は山岳会員迄

主催　小須戸山岳会
後援　公民館
〃　社会体育協議推進委員会